

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名 | 社会開発論 | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | |
| 担当教員 | 的場 竜一 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 3時限 | | |
| | 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 3年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 43119 |

主題と概要

本講義では、開発経済学の理論に基づきながら、実際に経済開発をおこなっているアジア諸国、とりわけ中国を事例にして経済開発および社会開発について検討します。
 社会開発とはなにか、経済開発をおこなうことでどういった課題が生じるか、具体的には雇用および格差、教育問題、社会保障、少子高齢化問題などを取り上げます。
 新聞記事や映像資料などを用いて具体的なイメージを持ちながら講義を進めていきます。

到達目標

- 1 社会開発とはなにかを理解する。
- 2 アジア諸国でどのように社会開発がおこなわれているかを学ぶ。
- 3 社会開発とそれに伴う課題を考える。
- 4 社会の一構成員として社会開発について自分自身の意見を持てるようになる。

提出課題

なし。

評価の基準

出席態度やコメントカードなどの平常点20%、レポートおよび定期試験80%にて総合的に判断します。

履修にあたっての注意・助言他

新聞記事の紹介や時事問題の解説などをおこなうので、時事問題について日常的に関心を持つことを心がけておいてください。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

毎講義でレジュメを配布する。また参考文献は下記の通りである。
 ・アマルティア・セン（翻訳：池本幸生・野上裕生・佐藤仁）『不平等の再検討 潜在能力と自由』岩波現代文庫、2018年。
 ・高橋和志・山形辰史編『国際協力ってなんだろう 現場に生きる開発経済学』岩波ジュニア新書、2010年。
 ・唐亮『現代中国の政治 「開発独裁」とそのゆくえ』岩波新書、2012年。
 ・遠藤環・伊藤重聖・大泉啓一郎・後藤健太編『現代アジア経済論 「アジアの世紀」を学ぶ』有斐閣、2018年。

授業計画

| | | |
|------|-------------|--------------------------|
| 第1回 | イントロダクション | 開発経済学と社会開発 |
| 第2回 | 社会開発とはなにか | 中国における社会開発の現状、格差貧困とその解決 |
| 第3回 | 社会開発とはなにか | なぜ社会開発が必要なのか |
| 第4回 | 社会開発とはなにか | 外資の導入による経済開発と人びとの暮らし |
| 第5回 | 社会開発と中国の生活 | 技術移転による中国企業の成長 |
| 第6回 | 社会開発と中国の生活 | 中国の生活水準の高まりと日本経済 |
| 第7回 | 社会開発と中国の生活 | 社会開発による文化、風習、伝統の維持と移り変わり |
| 第8回 | 社会開発とその影響 | 中国はなぜ経済大国になったのか |
| 第9回 | 社会開発とその影響 | 広がる格差貧困、少子高齢化、環境問題 |
| 第10回 | 社会開発とその影響 | 「アジアの時代」の到来 |
| 第11回 | アジアにおける社会開発 | だれが中国を「世界の工場」にしたのか |
| 第12回 | アジアにおける社会開発 | 「圧縮した産業発展」による歪みと社会開発 |
| 第13回 | アジアにおける社会開発 | 社会開発の必要性と問題性 |
| 第14回 | 社会開発の意義と課題 | 社会開発による歪みをだれが解決するのか |
| 第15回 | 社会開発の意義と課題 | |

予習・復習

各講義で参考資料と参考資料の範囲を紹介しします。また、コメントカードに寄せられた質問には、各講義の冒頭でなるべく丁寧に回答します。

備考

私語などによって周りの学生に迷惑をかける人には退室をしてもらうこともあります。また、進捗度合いによっては授業計画を変更します。